

ドレナージカテーテル

ワン

超音波ガイド下1ステップドレナージセットS型

医療機器承認番号：16200BZZ00396000

管理医療機器

短期的使用胆管用カテーテル



適 応

膿瘍ドレナージ、嚢胞ドレナージ、
胆汁ドレナージ

特 長

- 超音波ガイド下の一回の刺入でドレナージカテーテルの挿入・留置が行えます。
- 穿刺針（直断針とスタイレット針）を抜去するとピグテール状に戻ります。
- 先端ピグテール形状で、カテーテルの逸脱を防止します。

◆ 本製品は特定保険医療材料です ◆

2026年6月現在

告示名

198ドレナージカテーテル

償還価格：6,040円

告示名

033 経皮的又は経内視鏡的胆管等ドレナージ用材料

(3) 穿刺針

償還価格：2,020円

手 技（基本的な手技を記載しています。製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。）

1) 術前準備

- ① 通常の経皮的胆管ドレナージの手技に準じて行う。
- ② カテーテルに直断針(内筒)を挿入する。その後、スタイレット針を内筒にセットする。(カテーテルを傷つけないように注意すること。)
- ③ スタイレット針、内筒がカテーテル先端より出ていることを確認する。

2) 局所麻酔および試験穿刺

- (目標が嚢胞や胆嚢のように明らかな場合は、試験穿刺は不要。)
- ① 超音波画像上にて、穿刺目標および穿刺経路を確認する。
 - ② 皮膚・腹膜・肝被膜まで十分に局所麻酔を行い、そのまま目標内腔まで刺入させ、吸引し内容を確認する。

3) 穿刺ドレナージ

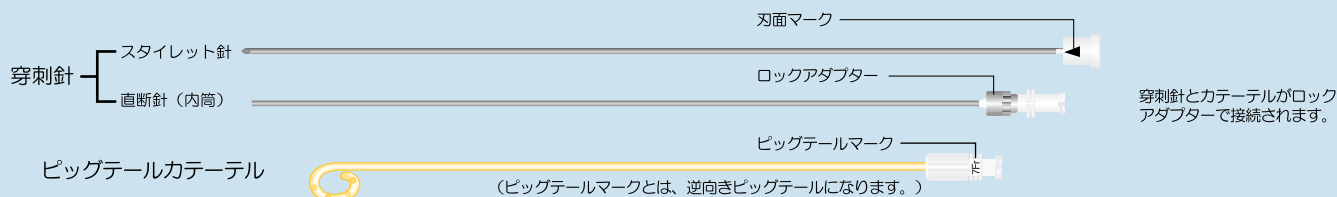
- ① 皮膚に小切開を加え、試験穿刺と同じ方法にて目標腔を穿刺する。
- ② 針先がその内腔に到達したことを映像上にて確認後、スタイレット針を抜去する。必要により逆流の確認をする。その位置で内筒を固定したまま、外側に装着してあるカテーテルを十分に押し込み、内筒を抜去する。
- ③ 超音波画像上にて、先端がピグテール状になっていることを確認する。
- ④ 内容を十分吸引した後、造影を行い内腔の広がりを確認する。

4) カテーテルの固定：

- ① カテーテルと皮膚と縫合固定し、さらに粘着テープで固定する。

仕 様

製品コード	サイズ	仕様
22110230	7Fr×300mm ソフトタイプ ロック式	穿刺針：18G サイドホール：4個
22110160	8Fr×300mm ロック式	穿刺針：17G サイドホール：5個
包装形態		
1箱2セット入 1セット毎ピールオープン包装 EOG滅菌済		



・ 本製品をご使用になる前に、製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。